

## 会 議 録

(7-1)

会議の名称	令和2年度 第1回 春日部市地域福祉計画審議会		
開催日時	令和2年11月17日(火)	開 会	午前・午後 1時30分
		閉 会	午前・午後 3時 2分
開催場所	春日部市総合福祉センター 講習室1・2		
議長(会長等)氏名	木下 聖		
出席者	委員氏名	(出席人数：12人) 木下 聖、小保方 敏美、大熊 誉隆、久保谷 昌夫、清水 明、鈴木 浩子、時田 美野吉、永田 京子、藤井 由美子、中村 靖史、岩井 通雄、竹田 正則	
	説明者 その他	(出席人数：3人) 生活支援課社会福祉担当主幹 佐藤 淳一 生活支援課社会福祉担当主査 金澤 智子 生活支援課社会福祉担当主任 大河原 弘樹	
	事務局	(出席人数：5人) 福祉部長 宇内 啓介 福祉部次長兼生活支援課長 飯口 信彦 生活支援課社会福祉担当主幹 佐藤 淳一 生活支援課社会福祉担当主査 金澤 智子 生活支援課社会福祉担当主任 大河原 弘樹	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分	1 開 会 2 市長あいさつ 3 委員・事務局紹介 4 議 事 (1) 会長の互選について (2) 副会長の互選について (3) 令和元年度進捗状況の評価について(公開) 5 その他 (1) 令和2年度の各事業の目標について (2) 春日部市地域福祉活動計画について 6 閉 会		
一部公開・非公開の場合はその理由	<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：		
配布資料	春日部市地域福祉計画審議会委員名簿 春日部市地域福祉計画 令和元年度 事業別目標シート(資料1) 春日部市地域福祉計画 令和2年度 事業別目標シート(資料2) 令和元年度 春日部市地域福祉計画 総合評価シート(資料3) 総合評価シートの計算方法について(資料4) 令和元年度春日部市地域福祉計画 総合評価シート【公表用】(資料5) 春日部市 地域福祉活動計画(概要版)(参考資料)		

会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録 ----- <input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録 ----- <input type="checkbox"/> 要点記録
会議録署名の指定	会長による署名 -----

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【1 開会】
市 長	【2 市長あいさつ】
事務局	【3 委員・事務局紹介】
	【4 議 事】
	(1) 会長の互選について
事務局	改選後最初の会議でございますので、会長が未選出でございます。
	議長の職を務めていただく方がおりませんので、会長の選任の進行に
	つきましては、事務局の方で進めさせていただきたいと思いますが、
	いかがでしょうか。
	[異議なしの声]
事務局	それでは、事務局を代表いたしまして福祉部長を仮議長とし進めさせ
	ていただきます。
仮議長	議事1について事務局より説明をお願いします。
事務局	《議事(1) 説明》
仮議長	ただいま事務局より説明がありました会長の互選について、ご意見等は
	ございますか。
委 員	会長は木下委員が適任であると思います。
仮議長	ほかにご意見等はございますか。
	[質問・意見なし]
仮議長	木下委員を会長に選出することに、ご異議ございませんか。
	[異議なしの声]
仮議長	ご異議なしということですので、木下委員に当審議会の会長をお願い
	いたします。只今、会長が選出されましたので、この後の議事進行に

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
	つきましては、木下会長にお願いいたします。
会 長	《会長就任挨拶》
議 長	(2) 副会長の互選について 副会長の互選についてご意見はありますか。
委 員	副会長は時田委員が適任であると思います。
議 長	ほかにご意見等はございますか。
議 長	[質問・意見なし]
議 長	時田委員を副会長に選出することに、ご異議はございませんか。
議 長	[異議なしの声]
議 長	ご異議なしということですので、時田委員に当審議会の副会長をお願いいたします。
副会長	《副会長就任挨拶》
議 長	(3) 令和元年度進捗状況の評価について 事務局より説明をお願いします。
事務局	《議事(3) 説明》
議 長	ただ今の説明につきまして、委員の皆様からご質問等がありますか。
委 員	資料1の令和元年度実績の欄について、ハイフンで示されており、記載がないものがたくさんあります。実施した内容があれば、実績があるのではないかと思います。このままでは評価に対する根拠が見えないので、どのように目標に対する評価をしたのかを教えてください。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	ハイフンがついている事業は、数値目標の設定ができない事業であるため、実績としても目標に対する数値がないという意味でハイフンになっています。評価の理由は記載しているため、こちらをもって適正に評価されているか審議会の皆様に確認いただきたいと考えています。
委 員	資料3, 4, 5については一般に分かりやすくする方法として理解できましたが、その元になっている、各事業の評価について、評価の理由の記載内容だけでは適正に評価されているか判断ができないので、根拠がわかるよう書き込んでいただいた方が良いと考えます。
委 員	私も総合評価については、市民の方もわかりやすく表現できていると思いますが、各事業の評価については、根拠が分からないと思います。評価がし辛い事業もあるかと思いますが、事業に合った表現の仕方で良いので、記入していただきたいです。実績の報告や今後の見通しを報告して評価する方法も、良いと考えます。
委 員	今回の評価について、やり直しではなく、次年度以降評価する際に反映したり、本当に数値目標が設定できないものについては、暫定的に除外して評価するといった手法も考えられると思います。
委 員	ほとんどが量的な指標が設定されていますが、福祉というのは質の問題も非常に大きいと思います。そのため、質的にとらえて評価する方法もあると思います。
委 員	数値目標が設定できないとしている事業についても、数値の実績が出せる事業もあると思います。実績など示せるものをしっかりと記せば、各事業について、自己評価できていると考えられると思います。
事務局	例えば相談事業などは、市民ニーズという母数がわからない中で、一概に相談の件数の大小だけで評価することが難しく、数値目標が設定できないという判断をしたものになりますが、相談件数の実績は集計しているはずですので、記載方法等について検討いたします。

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	今日出されたご意見を踏まえ、もう一度事務局と私共の間で確認する、あるいはそれを事務局がそれぞれの担当課と確認を進めるということで、改善を図りたいと思います。
委 員	数値目標のところ、事業の全体像が捉えられていない数値も見受けられるため、全体像を捉えた数値設定にした方が良く考えます。
事務局	シートの記入方法など、改めて研究し、各課と情報共有しながら再度見直しをしていきたいと考えております。その上でまた改めまして、皆さまに見直しの結果をお伝えしたいと考えております。
委 員	実施回数1回の目標で目標達成となっている事業もありますが、1回やれば良いというのではなく、その結果何を得たのかというのが大事であるため、目標設定の再考の際に参考にしてください。
事務局	担当課と協力して、再精査します。
委 員	数値目標が設定できない場合や、無理に数値目標を設定した場合もあるかと思いますが、目標値の有無に固執せず、柔軟に表記する方法もあると考えます。また、次年度の課題について、担当課では考えている課題があるはずなので、課題を踏まえた目標設定をすると良いと思います。
議 長	それでは、いくつか提案や改善点が示されましたので、私と事務局で精査しながら修正できるところは修正し、最終的な公表に持っていきたいと思います。
事務局	<p>【5 その他】</p> <p>(1) 令和2年度の各事業の目標について</p> <p>《その他(1)説明》</p> <p>[質問・意見なし]</p>

